

令和2年度

第2回浜松市歯科保健推進会議



健康福祉部 健康増進課

# 令和2年度 第2回浜松市歯科保健推進会議

日時 令和3年2月25日（木）午後1時30分～

場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室

## 次 第

### I 開会

### II 議題

- 1 令和2年度（上半期）歯科口腔保健事業実績  
・コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取組
- 2 令和2年度幼児教育保育施設における歯科健康診断の結果
- 3 浜松市歯科口腔保健推進計画の推進について
  - （1）令和2年度の主な取組
  - （2）令和3年度計画
- 4 その他

### III 閉会

## 浜松市歯科保健推進会議 委員名簿

◎ 大野 守弘	一般社団法人 浜松市歯科医師会 会長
○ 林 卓司	一般社団法人 浜松市医師会 副会長
才川 隆弘	一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長
村上 祐介	一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長
澤井 康行	一般社団法人 浜松市薬剤師会 副会長
池谷 志保	特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会 理事
山本 千栄子	浜松民間保育園園長会 理事
市川 明美	浜松市介護支援専門員連絡協議会 副会長
小田 史子	浜松市手をつなぐ育成会 副会長
川合 きよみ	ヘルスポランティア活動連絡会 役員

◎ 会長

○ 会長職務代理者

任期：平成31年4月1日から令和4年3月31日まで

【事務局】

鈴木 達夫	健康福祉部 医療担当部長（口腔保健支援センター長）
小山 東男	健康福祉部 健康増進課長
坂本 友紀	健康福祉部 副参事
平野 由利子	健康福祉部 副参事 健康増進課長補佐
伊藤 梓	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 所長
嵩山 なお子	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 主幹
戸谷 由里	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 副技監

【関係課等】

久保田 尚宏	健康福祉部 障害保健福祉課長
鈴木 勝己	健康福祉部 高齢者福祉課 医療・介護推進担当課長
徳田 純一	健康福祉部 介護保険課長
芳田 一成	健康福祉部 国保年金課長
板倉 称	健康福祉部 参与
島 和之	健康福祉部 健康医療課長
井川 宜彦	こども家庭部 幼児教育保育課 幼児教育指導担当課長
富部 哲也	学校教育部 健康安全課長
松田 のり子	中区 健康づくり課長
野沢 和好	東区 健康づくり課長
神谷 修己	西区 健康づくり課長
幸田 昭彦	南区 健康づくり課長
大谷 洋子	北区 健康づくり課長
金原 由直	浜北区 健康づくり課長
森田 修	天竜区 健康づくり課長

# 1 令和2年度（4～9月）歯科口腔保健事業実績

事業名	令和元年4-9月		令和2年4-9月		増減 (人)
	回数等	人数(人)	回数等	人数(人)	
<b>(1) 妊娠期・乳幼児期</b>					
妊婦歯科健康診査		1,262		1,241	△ 21
歯科相談（全年齢）	40	30	0	0	△ 30
電話相談		46		85	39
1歳6か月児歯科健診	119	3,147	16	445	△ 1,009
1歳6か月児臨時歯科健診【個別】				1,693	
2歳児歯科健診（2歳0か月～5か月）	47	1,442	0	0	△ 1,442
"    （2歳6か月～11か月）		777		0	△ 777
3歳児歯科健診	78	1,896	3	40	△ 335
3歳児臨時歯科健診【個別】				1,521	
フッ化物洗口	107	5,506	103	4,691	△ 815
かむかむ元気教室（保育園・こども園・幼稚園）	159	10,621	0	0	△ 10,621
DVD配布				227園	227園
フッ化物洗口説明会	21	511	0	0	△ 511
説明資料配布				41園	41園
歯科健康教育（依頼によるもの）	3	94	1	19	△ 75
離乳食教室	39	633	0	0	△ 633
もぐもぐ元気っこ教室	9	298	3	45	△ 253
親子すこやか相談	63	250	20	33	△ 217
訪問歯科相談	4	4	12	12	8
歯と口の健康週間事業イベント来場者数【会場数】	4	1,755	0	0	△ 1,755
<b>(2) 学齢期</b>					
歯科健康教育(依頼によるもの:小・中・高等学校)	11	927	8	497	△ 430
<b>(3) 成人期</b>					
ママのための生活習慣病予防教室	6	140	0	0	△ 140
歯周病検診		2,391		2,729	338
歯科健康教育（依頼によるもの）	4	94	2	25	△ 69
訪問歯科相談	0	0	0	0	0
市民公開講座（高齢者福祉課）	2	336	1	69	△ 267
<b>(4) 高齢期</b>					
歯科健康教育（依頼によるもの）	29	655	15	253	△ 402
訪問歯科相談	0	0	0	0	0
歯科訪問診査		43		13	△ 30
<b>(5) 障がい者の歯科</b>					
心身障がい者（児）歯科診療（口腔センター）【日】	66	360	70	478	118
障がい者施設歯科健診（保健指導含む）【施設数】	31	759	0	0	△ 759
<b>(6) 状況に応じた歯科口腔保健医療</b>					
休日救急歯科診療【日】	37	683	35	348	△ 335

## 【新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取組】

### 原則

- ・個人が感染するリスクを低減すること
- ・濃厚接触者に該当する者を減らすこと

### (1) 集団健診

政府による集会やイベントの自粛要請（令和2年2月）、緊急事態宣言（令和2年4～5月）により、一時的に中止し、感染症の拡大予防策を講じたうえで、順次、再開。

健診名	中止期間	現状（R3.2.25 現在）
1歳6か月児健診	R2.4～R2.8 <sup>注)</sup>	集団健診で再開
3歳児健診	R2.4～R2.10(浜北区) <sup>注)</sup> R2.4～R2.7(天竜区) <sup>注)</sup>	集団健診で再開
3歳児歯科健診	R2.3～R3.3(他5区) <sup>注)</sup>	個別健診で代替実施
2歳児歯科健診	R2.3～R3.2	予約制を採用し集団健診再開予定
障がい者施設歯科健診	R2.4～R2.12	R3.1から試行的に再開

注) 1歳6か月児健診、3歳児健診、3歳児歯科健診は、中止期間中の対象者を個別検診に振替えて実施

#### ① 1歳6か月児健診

- ・一時的に集団健診を中止し、中止期間中に受診指定日があった児は個別健診に振替えた。
- ・集団健診は、密接、密集、密閉の3つの条件が同時に重ならないような実施方法を検討したうえで、令和2年9月に再開した。

#### ② 3歳児健診

- ・天竜区は1回あたりの受診者数が少ないことから密集を回避できるとして7月に集団健診を再開した。浜北区は1歳6か月児健診の実施状況を確認し、安全性を検討したうえで、令和2年11月から集団健診を再開した。
- ・健診の対象者へは、あらかじめ受診日を指定して受診案内を発送するシステムであったため、中止期間中に受診日の指定をする予定であった児を個別健診に振替えた。

#### ③ 3歳児歯科健診（浜北区、天竜区を除く5区）

- ・一般健診は、医療機関で個別健診として実施してきたため継続して実施されていたが、歯科健診は、集団健診の実施日を告知し、来場した児に歯科健診を行うシステムであったため、事前に来場者数を調整できず密集を回避することが困難であった。
- ・集団健診を中止し、個別健診に振替えて実施している。

#### ④ 2歳児歯科健診

- ・告知した実施日に来場した2歳児に対し、集団健診として歯科健診を実施してきたため、事前に受診者数が把握できなかったことから、実施を見合わせ、予約制への移行を検討した。
- ・親子すこやか相談の再開に向け開発された予約システムに、2歳児歯科健診予約機能を追加し、来場者数の事前調整ができるようにしたうえで、集団健診を再開する予定。

#### ⑤障がい者施設歯科健診

- ・障害者支援施設や障害福祉サービス事業所における感染拡大防止対策の実施状況が不明なこと、入所施設への訪問者に求められる基準が不明なため事業を中止した。
- ・「社会福祉施設等における感染拡大防止のため留意点について（その2）（一部改正）」（令和2年10月15日付け、厚生労働省健康局結核感染症課ほか連名事務絡）にて、感染防止方法の例示がされたため、施設、利用者、事業従事者のチェックリストを作成した。
- ・作成したチェックリストを試用して、部分的に再開。

### （2）各種健康教育等

- ・幼児教育保育施設における健康教室 {かむかむ元気教室} は、DVD教材を作成し施設へ貸与することで施設へ訪問することによる感染拡大の機会を最小限にした。
- ・幼児（幼児教育保育施設の利用者）へ直接の健康教育ができないため、指導者への研修に振替え、幼児教育保育施設職員に対し「歯みがき指導研修会」を実施した。
- ・フッ化物洗口説明会は、説明内容を基に新たに配布資料を作成し、これまで参加のなかった幼児教育保育施設にも配布した。
- ・歯科衛生士を対象とした感染予防対策研修、障がい者施設健診説明会は、クラスター発生時のクラスターの大きさを小さくするために、口腔保健支援センターの会場のほかにリモート会場を2か所追加し、計3会場にて開催し、リスクを分散した。

### （3）歯科診療事業

- ・休日救急歯科診療、心身障害者歯科診療とも、診療を希望する者の発熱がないことを確認し、待合室で十分な距離をとること、十分な換気を行うこと、口腔外吸引装置の整備などの対策を講じたうえで実施した。

## 2 令和2年度幼児教育保育施設における歯科健康診断の結果

○ 市内の保育所・こども園・幼稚園が令和2年度に実施した歯科健康診査の結果を集計した。

○ 回答率77.8%（178園/229園）、平成元年度の99.1%（226園/228園）より減少

### (1) 調査者数

表1 調査者数

【単位：人】

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
H28年度	611	1,734	2,253	6,071	6,714	6,892
H29年度	587	1,677	2,320	5,965	6,587	6,814
H30年度	590	1,706	2,478	5,747	6,457	6,659
R1年度	649	1,928	2,502	5,747	6,457	6,610
<b>R2年度</b>	<b>535</b>	<b>1,252</b>	<b>1,947</b>	<b>4,518</b>	<b>5,052</b>	<b>5,191</b>

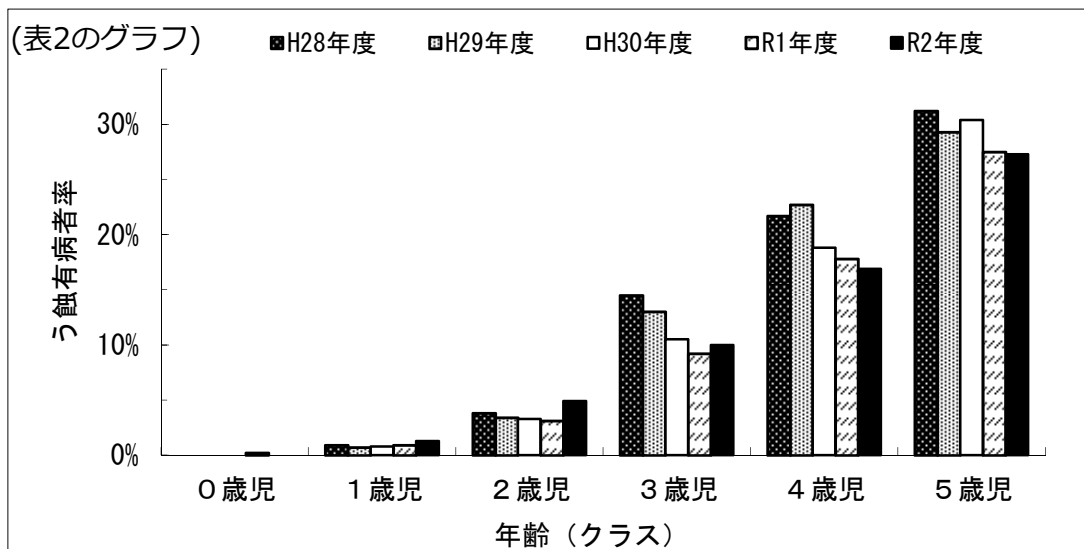
### (2) う蝕有病者率（むし歯<sup>\*</sup>がある者の割合）

※むし歯：未処置歯及び処置歯

表2 う蝕有病者率

【単位：%】

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
H28年度	0.0	0.9	3.8	14.5	21.7	31.2
H29年度	0.0	0.7	3.4	13.0	22.7	29.3
H30年度	0.0	0.8	3.3	10.5	18.8	30.4
R1年度	0.2	0.9	3.1	9.2	17.8	27.5
<b>R2年度</b>	<b>0.0</b>	<b>1.3</b>	<b>4.9</b>	<b>10.0</b>	<b>16.9</b>	<b>27.3</b>



・ う蝕有病者率は減少傾向にある（むし歯のない者の割合が増加）。



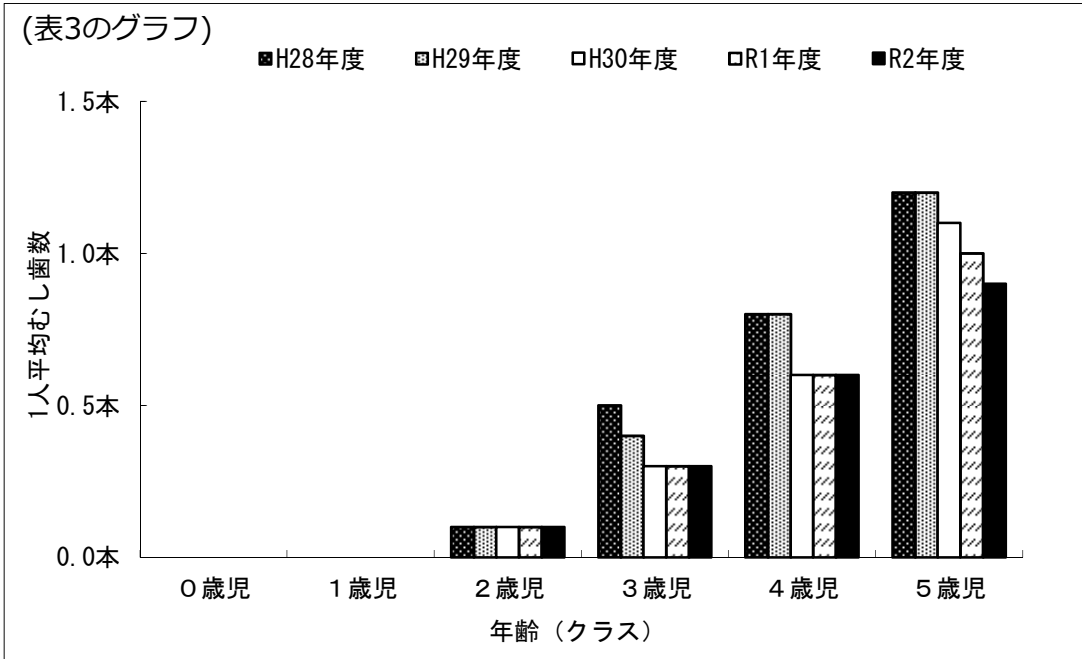
(3) 1人あたりの平均むし歯本数 <未処置歯+処置歯>

表3 1人平均むし歯数

【単位：本】

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
H28年度	0.0	0.0	0.1	0.5	0.8	1.2
H29年度	0.0	0.0	0.1	0.4	0.8	1.2
H30年度	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	1.1
R1年度	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	1.0
<b>R2年度</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.1</b>	<b>0.3</b>	<b>0.6</b>	<b>0.9</b>

(表3のグラフ)



・ 5歳児の1人平均むし歯数は年々減少している。

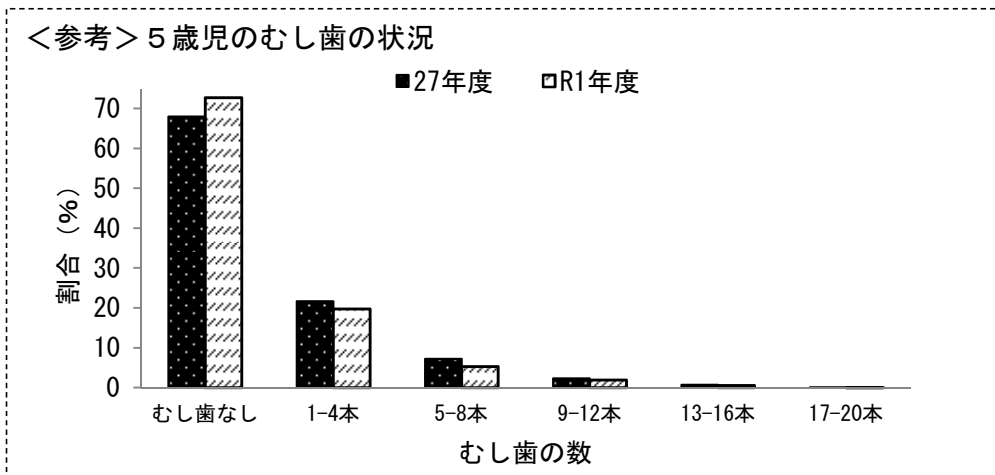
<参考> 5歳児のむし歯の状況 (割合)

【単位：%】

	むし歯なし	1-4本	5-8本	9-12本	13-16本	17-20本
27年度	68.0	21.7	7.2	2.3	0.7	0.1
R1年度	72.8	19.8	5.3	1.9	0.6	0.1

出典：静岡県5歳児歯科調査 (R1は未公表)

<参考> 5歳児のむし歯の状況



・ 9本以上のむし歯の者は、H27に3.1%だったが、R1は2.6%に減少)

(4) 歯科保健行動の実践状況

表4 歯科保健行動の実践状況

【単位：園(%)】

	施設数	歯みがきをする園	フッ化物洗口を実施する園 <sup>#</sup>
H28年度	210	170 (81.0%)	99 (46.7%)
H29年度	213	173 (81.2%)	101 (46.3%)
H30年度	221	175 (79.1%)	98 (44.3%)
R1年度	228	181 (79.4%)	104 (45.6%)
<b>R2年度</b>	<b>229</b>	<b>140 (61.1%)</b>	<b>103 (44.9%)</b>

<sup>#</sup>分母は全園数 (229園)

- 「歯みがきをする園」は約6割と、前年より18ポイント減少した。  
(クラスター発生リスク最小化のため見合わせとしているが、今後の検証が待たれる)

### 3 浜松市歯科口腔保健推進計画の推進

#### 歯科口腔保健推進計画とは・・・

- ・ 「いきいきと暮らせる思いやり共生都市」を実現するために、「生涯にわたる心と身体の健康づくり」の一環として、「歯と口の健康づくり」を推進するための計画(平成 26 年 3 月策定)

※いきいきと暮らせる思いやり共生都市：浜松市総合計画の目標

#### ライフステージごとの目標

区分	年齢	目標の概要
妊娠期 乳幼児期	～ 5	・歯と口の健康づくりに関し保護者等への啓発 ・むし歯の抑制 ・食べ方、かみ方、のみこみ方の機能発達の支援
学齢期	6～19	・むし歯の抑制 ・歯みがき習慣、望ましい食習慣の習得
成人期	20～64	・歯周病の抑制 ・全身の健康づくりを視野に入れた歯の健康づくりの啓発
高齢期	65～	・80 歳で 20 本以上の歯がある人の割合の増加 ・歯科訪問診療等の訪問サービス制度の周知 ・歯科医療と介護サービスとの連携促進 ・口腔機能低下（オーラルフレイル）に関する知識の普及

※ 全年齢を通じて、かかりつけ歯科において定期管理を受診することを勧奨

※ 障害の有無に関わらず同じ目標とし、かかりつけ歯科における定期管理を推奨

※ 大規模災害発生時における健康支援活動

#### 基本戦略

- (1) 市民の取り組み  
市民一人ひとりが自分で健康管理を实践
- (2) 専門家の取り組み  
かかりつけ歯科による定期管理
- (3) 社会の環境整備  
歯と口の健康づくりに取り組みやすい体制づくり

#### 後期計画（平成 30 年度～令和 4 年度まで）の重点施策

- (1) 口腔機能に着目した口腔成育の推進
- (2) 健康づくりに関心の低い働きざかり世代に対する歯周病予防対策の推進
- (3) 健康寿命の延伸に向けた歯と口の機能低下を予防する対策の推進

# 歯科口腔保健推進に関する取組

## (1)生涯にわたる歯科口腔保健対策

### 1) 妊娠期・乳幼児期

担当課	取組	対象	内容	R2年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R3年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	妊婦の歯科健診	妊婦	・妊婦の歯科健診、歯科保健指導を実施	・妊娠届出時に受診票を配布 ・受診希望者は、委託医療機関で受診する	・妊娠届出時の保健指導など、妊婦とのかかわりの中で、引き続き、受診勧奨に努める。 ・R2から届出時の質問票に、歯科定期受診の有無を追加した。今後、集計を行う。
	幼児の歯科健診	1歳6か月児、 2歳児、3歳児	・歯科健康診査を実施し、希望者にフッ化物を塗布	・1歳6か月児健診、3歳児健診を実施 ・かかりつけ歯科医での定期管理の重要性を普及啓発	・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3歳児歯科健診を個別健診に振替えて実施、2歳児歯科健診は安全確保のうえでの再開を検討中
	フッ化物洗口	幼児	・幼稚園、保育所、こども園にてフッ化物洗口を実施	・約半数の施設(107施設/224施設)で実施	・実施施設は、毎年、増加しているが、幼・保園長会等にて事業説明を行い、実施施設数の増加に努める。
	母子の健康教育	乳幼児 保護者	・フッ化物利用によるう蝕予防を普及啓発 ・噛むことの大切さや望ましい食習慣の定着を目指した働きかけ	・各幼児教育・保育施設に歯科衛生士が訪問する健康教育ができないため、健康教育用のDVDを作成し、全幼児教育・保育施設へ貸与	・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当初予定通りの実施ができないため、DVDを作成して幼児教育・保育施設に貸与。
幼児教育・保育課	幼稚園・保育所における歯科保健の推進	園児	・定期健康診断で歯科健診を実施する。 ・歯と口の健康づくりや歯磨き方法について学ぶ機会を設ける。 ・日々の生活の中で、食後の歯磨き、口ゆすぎ等に取り組み、良い習慣を身に付けられるよう援助をする。 ・よくかんで食べるように指導する。	・歯科健診を通して、自分の歯と口の健康状態を知り、むし歯の予防に対する関心が高まるようにした 自分の歯と口の健康を保つための態度や習慣を楽しく身に付けられるよう、教材を工夫したり健康増進課から貸与のDVDを視聴したり人材を活用したりして、学ぶ機会を設けた ・発達段階に応じた正しい歯の磨き方や口のゆすぎ方等を指導 ・食育活動の一環として、保護者が食への理解を深め、食事を作ることや子どもと一緒に食べることの喜びをもてるような啓発に努めた	・歯科健診結果の通知や「歯と口の健康週間」の活動を通し、歯と口の健康の大切さを親子で身近なこととして受け止められるようにする。 ・乳幼児における歯科保健の大切さについて、保護者の理解を深められるような場を工夫する。(DVDの活用) ・食後の歯磨きや口ゆすぎの習慣化を図る。 ・乳幼児期における望ましい食習慣の定着を目指し、園の食育活動の充実を図るとともに、家庭への具体的な啓発に努める。

### 2) 学齢期

担当課	取組	対象	内容	R2年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R3年度以降の取組や今後の方向性等)
健康安全課	学校における歯科保健の推進	小学生 中学生	・定期健康診断で歯科健診を実施。 ・教育活動において、歯の必要性・大切さを含め、むし歯や歯周病の予防について指導。 ・歯を清潔に保つため歯みがきを習慣化させ、自分で自分の歯やからだを意識的に守らせるという観点から昼食後の歯みがきの習慣化を目指します。 ・むし歯の多い子どもについては、学校歯科医の助言を受け、健診後、個別の保健指導に努める。	・定期健康診断では、学校歯科医と連携を図り、健康診断の結果をもとに、むし歯や歯周病の予防について指導。 ・自分で自分の歯やからだを守る意識につなげるため、「歯と口の健康週間」を啓発し、歯みがきの習慣化の定着に努めた。さらに学校では、むし歯の多い児童・生徒には保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の保健指導に努めた。 ・浜松市学校保健会学校歯科医部研修会において、教職員を対象にした「咀嚼や嚥下」についての講話を動画配信した。	・定期健康診断の結果をもとに、学校歯科医と連携を図り、むし歯や歯周病の予防について指導していく。 ・自分で自分の歯を守る意識を高めるため「歯と口の健康週間」を通して、歯みがきの習慣化を図る。 ・むし歯の多い児童・生徒には、保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の指導に努める。

健康安全課	学校における食育について	小学生 中学生	・栄養教諭・学校栄養職員等を中心とし、よくかんで食べることを意識した献立を作成する。 ・教職員と連携・協力し、食に関する指導体制の充実を図る。	・1か月に数回「カミカミメニュー」(よく噛んで食べる献立)を立案、実施 ・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導	・1か月に数回「カミカミメニュー」(よく噛んで食べる献立)を立案。 ・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導。 ・「歯と口の健康週間」がある6月には、骨や歯を丈夫にするカルシウムを多く含む食品、あごを強くするために、よくかんで食べる食品を多く取り入れていく。
-------	--------------	------------	--	--	--

## 3) 成人期

担当課	取組	対象	内容	R2年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R3年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	歯周病検診	30歳以上の市民	歯科健診、保健指導の実施を委託	30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施 受診券は、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送	受診率向上のため、ナッジ理論を活用した受診券を作成して送付する。事業所での歯周病検診に関するアンケートを活用し、受診率向上の取組を実施する
	健康教育	市民 企業等	・地域団体や企業等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を実施する。	・住民団体や・健康保険組合等に健康教育の実施を案内し、希望のある団体の活動の場や事業所で健康教育を実施	引き続き、事業の周知に努めるとともに、今後はオーラルフレイルの概念の普及に取組む
	健康教育等	市民 企業等	・浜松ウエルネス推進協議会の事業所や健康はままつ21推進団体等に歯周病検診について普及啓発	・事業所の衛生管理者等に対し、普及啓発資料の配布を依頼、依頼があった事業所では健康教育を実施。歯周病検診に関するアンケート調査を実施	歯周病検診に関する普及啓発に努める。特に、事業所に対して働きかけを強化する。
高齢者福祉課	市民公開講座 (保健医療講演会等事業)	市民	歯科、口腔ケア等に関する内容の市民向け講演会等の実施を委託	・令和2年11月1日「食べる機能のアンチエイジング」 参加者：69名	引き続き、幅広く市民に歯科・口腔ケアについて知っていただく機会として実施していく。
国保年金課	生活習慣病重症化予防	市民	生活習慣病対策の一環として、歯科疾患予防を啓発する。	特定健康診査受診者で医療機関への受診勧奨通知対象者のうち喫煙者に対し、歯周病に関する啓発ちらしを発送 発送件数：76件(R2.12末時点)	生活習慣病対策の一環として、今後も歯周病について啓発していく。

## 4) 高齢期

担当課	取組	対象	内容	R2年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R3年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	歯周病検診(再掲)	30歳以上の市民	歯科健診、保健指導の実施を委託	30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施(受診券は、ナッジ理論を応用してデザインし、30、35、、、、70歳の市民に郵送)	がん検診の受診券とデザインと統一性を持たせた受診券を送付する予定
	健康教育(再掲)	高齢者	団体等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を行います。	・歯科衛生士を派遣し、口腔機能の向上等についての健康教育を実施	引き続き、事業の周知に努めるとともに、今後はオーラルフレイルの概念の普及に取組む
	口腔ケアの普及啓発	介護保険事業所	介護事業所に対し、口腔ケアの重要性や効果などを普及啓発する。	通所の介護事業所に対し、訪問して普及啓発を実施	引き続き、事業の周知に努め、実施回数増により口腔ケアの普及を図る。
	歯科訪問診療の普及	介護保険事業所・歯科診療所	介護事業所と歯科診療所とが顔の見える関係を構築するための支援	地域包括支援センターおよびケアマネジャー事業所と、歯科診療所の担当者との意見交換会を企画(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中断)	引き続き、事業の周知に努め、年間10回程度の実施を目指す。
	歯科受診勧奨	高齢者	歯科医療機関への受診勧奨	求めがあった高齢者等に訪問して歯科相談を実施	介護予防と保健事業の一体化として試行(対象を拡大)
	歯科訪問診査	通院困難な者	居宅等で療養し通院しての歯科診療が困難と目される者に対し、求めに応じて訪問して歯科健康診査を行う	・市民の訪問希望を浜松市が受付、歯科医師会に訪問診査を依頼	引き続き、事業の周知に努める

担当課	取組	対象	内容	R2年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R3年度以降の取組や今後の方向性等)
高齢者福祉課	口腔機能向上普及啓発事業	高齢者	高齢者団体に対して、口腔機能の維持向上や口腔ケアについての正しい知識や技術の普及啓発を行う。	・市内で活動する高齢者団体からの希望に応じて、歯科衛生士を派遣し、口腔機能の向上等についての指導を実施 実施状況：6団体 110人	虚弱な高齢者を対象に口腔機能の維持向上や口腔ケアについての正しい知識の普及啓発及びオーラルフレイルの早期発見を行っていくため、事業の実施方法、対象者の変更を検討中。
高齢者福祉課	地域包括ケアシステム推進連絡会	医療・介護・福祉の関係者	医療と介護の連携促進により、円滑な地域包括ケアシステムの推進を図るため、歯科医師を含めた医療関係者と介護関係者等との会議を開催する。	・令和2年6月5日 連絡会本会の開催 ・部会(連携・市民啓発・研修・情報共有・事業)に歯科医師が参加し、医療と介護の連携についての課題解決に向けて他の専門職種と検討した(会議回数:11回) ・市民啓発部会の活動である「知って得するお出かけ講座」のメニューに歯科医師による講座「おいしく食べて、元気でいよう」のテーマを設定。地域住民に対し、在宅医療介護連携の啓発と併せて講話を実施した 実施回数:2回	・連絡会本会の開催 年2回。各部会に歯科医師が参加し、医療と介護の連携についての課題解決に向けて他の専門職種と検討していく。 ・「知って得するお出かけ講座」による地域住民への歯科や口腔ケアについての啓発を継続していく。

5)障がい者の歯科

担当課	取組	対象	内容	R2年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R3年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	障がい者歯科保健医療システムの充実	・歯科医療関係者	かかりつけ歯科での定期管理が行える体制の構築を目標として、歯科診療所、医療センター、口腔保健医療センターとの意見調整を行う	・連絡調整会議の開催:8/27、11/5、1/28予定 ・障がい者歯科協力医の周知	障がい者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「浜松市障がい者歯科保健医療システム」の周知に取り組んでいく。
	かかりつけ歯科での定期管理の重要性について普及啓発	・障害福祉サービス事業所の利用者	かかりつけ歯科での定期管理を習慣化するための普及啓発	普及啓発の手段として施設を訪問して歯科健診を実施。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためチェックリストを作成し試用	かかりつけ歯科での定期管理を定着を目指し、歯周病検診のPRも併せて行う。
	歯科医療従事者の資質向上	・歯科医療関係者	障害の有無に関わらず「かかりつけ歯科」として対応するため知識と技術の研修	年間8回開催予定(うち1回は緊急事態宣言のため中止)	かかりつけ歯科での定期管理の定着を目指す。
障害保健福祉課	・歯科保健医療の普及啓発 ・障害者差別解消法の歯科医療関係者への理解の促進	・障がいのあつる人及びその家族 ・歯科医療関係者	・各区役所に「浜松市障がい者歯科保健医療システム」のチラシ等をおき、歯科保健医療提供体制を周知する。 ・歯科医療関係者に対し、障害者差別解消法の理念及び内容の理解促進を図る。	・障害保健福祉課、各区役所社会福祉課窓口「浜松市障がい者歯科保健医療システム」のチラシを設置	障害者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「浜松市障がい者歯科保健医療システム」の周知に取組む。 ・各区社会福祉課窓口でのチラシの配架 ・障害保健福祉施策連絡会での説明 ・相談支援事業所連絡会での説明 歯と口の健康フェスタ等において障害者差別解消パンフレットの提供
病院管理課:浜松医療センター	障がい者(児)歯科診療	一般の歯科診療所で歯科治療が困難な障がいのあつる人	・「障がい者歯科協力歯科医院」との連携して歯科診療を行う。 ・全身麻酔による集中歯科診療を行う。	・浜松医療センター歯科口腔外科において、週1日、特殊歯科外来を実施	引き続き、「浜松市歯科医師会」「障がい歯科協力歯科医院」と連携を図りながら、歯科診療を行っていく。

## (2) 状況に応じた歯科口腔保健医療対策

### 災害時の歯科口腔保健医療

担当課	取組	対象	内容	R2年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R3年度以降の取組や今後の方向性等)
健康医療課	浜松市医療救護対策委員会における災害時歯科医療の検討	医療関係者ほか	災害時における医療救護対策(緊急歯科医療)、身元確認対策、健康支援対策(口腔ケア)などについて調査研究を行う。	・令和3年3月(予定)	・第1回:令和3年8月上旬(予定) ・第2回:令和3年11月上旬(予定) ・第3回:令和4年3月上旬(予定)
健康医療課 健康増進課	災害時歯科衛生士ボランティアの募集及び研修会の開催	歯科衛生士	災害時、避難所等で活動いただける歯科衛生士ボランティアを募集する。また、ボランティア登録者等に対し研修を行い、有事の際に活動いただける人材の育成を目指す。	・ボランティア登録者:35名(令和元年度末時点)	災害時歯科衛生士ボランティア募集研修会

## (3) その他

担当課	取組	対象	内容	R2年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R3年度以降の取組や今後の方向性等)
保健総務課	医療相談	市民	医療相談窓口を開設し、医療に関する患者等の苦情・相談に対して、中立的な立場で対応する。	・相談件数:1,000件(うち、歯科に関する相談:46件)	医療相談窓口を開設し、医療に関する患者等の苦情・相談に対して、中立的な立場で対応する。
子育て支援課	要保護児童対策地域協議会	児童虐待防止に関わる関係団体	児童虐待防止に向け、庁内外の関係機関の代表者による実務の円滑な運営体制整備を目的に、情報交換等を実施する。	・要保護児童対策代表者会議開催	児童虐待防止に向け、歯科診療における虐待早期発見、通告先の情報共有等を行う。
健康増進課 (健康推進G)	歯科口腔保健推進条例と計画の周知 歯と口の健康づくりに関する啓発	一般市民	生活習慣病予防、歯と口の健康づくりに関する啓発を実施	・健康はままつ21講演会(動画配信、資料配布) 健康増進計画等のPR ※新型コロナウイルス感染症の対策のため、開催方法を変更	引き続き健康増進計画等のPRに努める。

## 歯科保健の推進に関する委員のご意見（その1）

	市川委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市手をつなぐ育成会)	川合委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	山本委員 (浜松民間保育園長会)
R2年度 取組予定  (第1回会 議資料より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度はコロナウイルス感染症の影響で未定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者歯科協力医を紹介し、口腔保健医療センターでの受診について周知する。</li> <li>・新規会員にはサポートファイル説明会において、歯科受診の際「しずおかサポートファイル」の歯科医療コミュニケーションシートの活用について紹介する。</li> <li>・特別支援学校対象の歯科保健アンケートの回答・提出について、保護者に協力を呼びかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動連絡会の役員を通して、各センター会のボランティアメンバーやサロン参加高齢者にお口の健康の大切さを伝えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のフッ化物洗口事業に協力している。</li> <li>・市の出前講座（かむかむ元気教室）を利用しているがコロナウイルス感染症対策のため、未実施園が多い。</li> </ul>
R2年度 取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は新型コロナのため、研修・懇談会も中止となった。</li> <li>・コロナ感染予防のため、口腔内の清潔保持が必要であることをチラシで回覧した。（包括業務として）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナ感染防止のため、勉強会や保護者会など、ほとんど開催ができませんでした。特に新規会員は幼児保護者の多いため、多くの人が集まる会は見合わせました。</li> <li>・幼児通園施設や特別支援学校では、保護者からの相談や問い合わせがあれば、障がい者歯科協力医を随時紹介するなど対応して頂いています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会や、ステップアップセミナーなど、大勢が集まる行事が中止になったため、活動連絡会の会議は2回だけの開催となった。</li> <li>・地元中心のサロンやカフェはコロナウイルス感染症拡大を心配して、自粛した期間があり、活発な活動はできなかった。</li> <li>・高齢者が自粛期間中にできることや注意点など、保健師にもらったビラを参考にして、地域の回覧板で回してもらった。</li> <li>・開催できるようになってからは、3密に気を付けながら情報交換をしたり、レクリエーションなどで楽しんでもらった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のフッ化物洗口事業に協力している。</li> <li>・市の出前講座（かむかむ元気教室）の代替策として DVD 視聴と保護者へ啓発紙（3つのお約束等）の配布した。</li> <li>・支援ひろばにて歯科衛生士の歯科講座の実施（お口を育むおもちゃ作り等）</li> </ul>



## (1) 令和2年度の主な取組

### (ア) 口腔保健支援センター関連事業

#### ① 口腔ケア普及推進事業

- ・介護福祉サービス事業所職員を対象に、日常生活での口腔ケア技術の実習
- ・口腔保健医療センター：1回(18人)、市内事業所6か所(計31人)

#### ② 障がい者歯科連携推進事業

- ・障がい者の歯科診療に必要な技術の現地研修と解説、及び知識の講義
- ・現地研修7回、参加者延べ91人(実人数39人)
- ※ 外部講師による研修は感染症拡大防止のため中止

#### ③ 研修会等

「歯科保健事業従事者感染防止研修」：8/4

- ・参加者 歯科保健事業に従事する歯科衛生士
- ・内容 新型コロナウイルス感染症の罹患状況、スタンダードプレコーション等

「要介護者口腔ケア実践研修会」：8/25

- ・参加者 介護保険サービス提供事業者 8人
- ・内容 口腔ケアに関する知識及び実技の研修

「障がい者施設歯科健診事業説明会」：12/15、1/14

- ・参加者 障害福祉サービス事業者 56施設
- ・内容 かかりつけ歯科の重要性について普及啓発

#### ④ 口腔保健支援センター連絡会議

- ・実施日 7/1、1/19
- ・参加者 浜松市歯科医師会 理事等  
浜松市：健康増進課、障害保健福祉課、高齢者福祉課、介護保険課、国保年金課、健康医療課、幼児教育保育課  
学校教育部：健康安全課
- ・内容 歯科保健推進に関する実務レベルの意見交換

### (イ) 歯科口腔保健推進に関する啓発

- ・歯科の受診啓発チラシの作成・配布
- ・出張型健康教育の実施  
GO TO デンタル活動として事業所訪問や健康教育を実施(別紙)

# GO TO デンタル活動

## 1 活動の目標

- ・歯周病の定期管理の必要性について企業担当者の理解を促進する。
- ・今後、職域に対して歯科保健の働きかけをするための関係性を確立する。

## 2 内容

11月8日（いい歯の日）から12月7日までの1か月間を「GO TO デンタル」活動期間として、浜松ウエルネス推進協議会の会員事業所、健康はままつ 21 推進団体等に歯と口の健康づくりや、歯周病検診に関する普及啓発活動を実施した。

- ・会員事業所や推進団体等の担当者に対し事前にメールを送信したうえで、各区歯科衛生士が取組内容を電話で説明
- ・事業所の希望に応じて、「ミニ講義の実施」、「歯周病検診受診券発行の受付」、「啓発チラシの配布」、「アンケート調査」などを実施

## 3 結果（集計中、暫定値）

### （1）啓発事業への協力が得られた事業所数

- ・市内で 266 の事業所に働きかけを行ったところ、次表のように協力が得られた。

活動内容	事業所数	割合
チラシ配布	236	( 88.7 %)
アンケート	192	( 72.2 %)
受診券発券	15	( 5.6 %)
ミニ講義実施	17	( 6.8 %)

歯周病検診の受診券発券は 15 事業所で協力が得られ、発行枚数は 49 枚。

### （2）アンケート結果〔暫定値 R3.2.8 現在〕

- ・5,999 人から集計可能な回答を得られた。配布方法は事業所によるので回答率は不明。
  - ・歯周病検診を知っている者の割合 40.2% (2,049 人)
  - ・歯周病検診受診経験のある者の割合 13.2% ( 791 人)
  - ・半年以内に歯科受診がある者の割合 45.7% (2,741 人) 等

## 4 今後の展開（案）

- ・アンケート調査結果を集計し、結果を各事業所に返却して、今後の健康づくり活動への活用を促す。
- ・今回協力の得られた事業所等に対し、引き続き、歯と口の健康づくり活動の支援、歯周病検診の認知度向上や受診率向上の普及啓発活動を実施する。

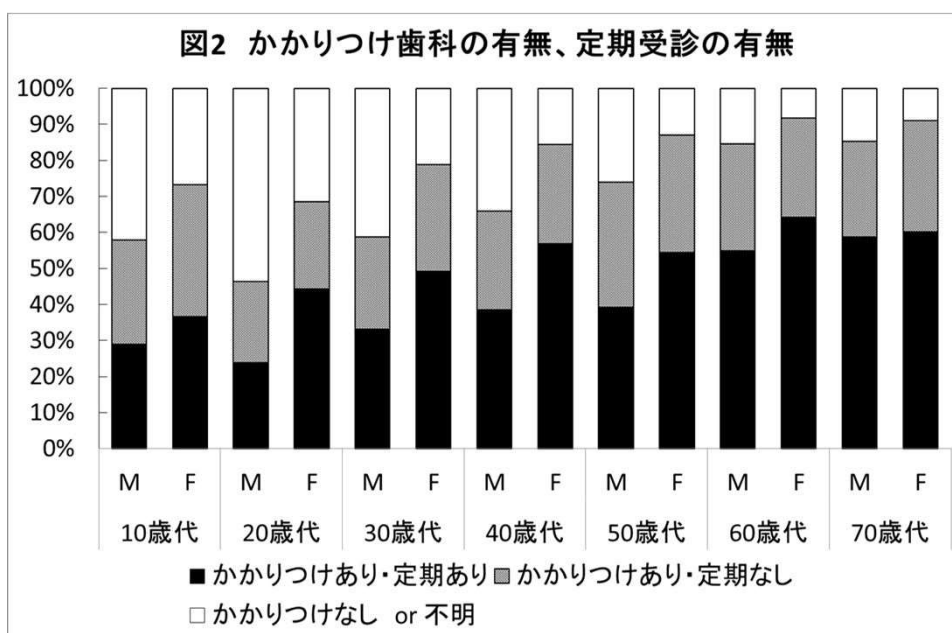
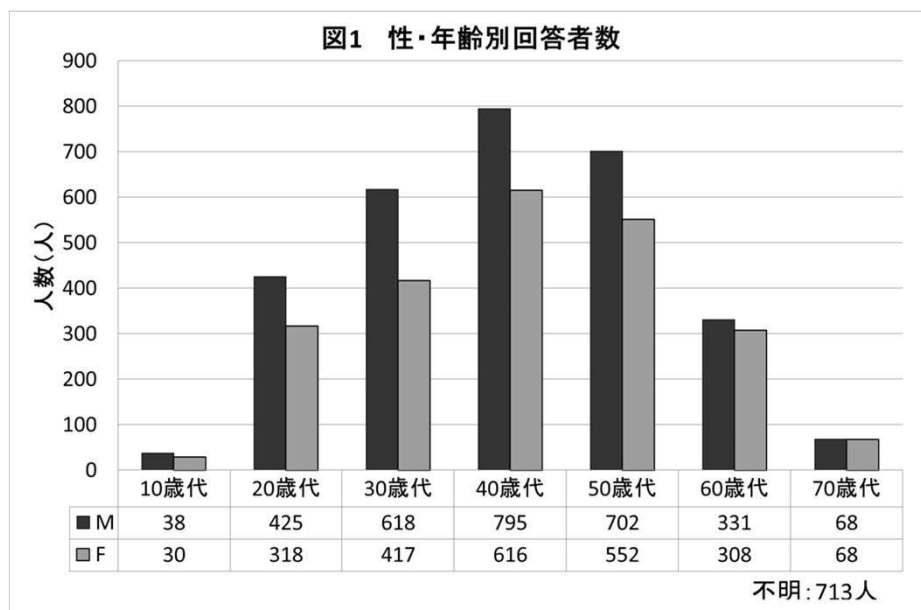


図3 歯周病検診受診状況

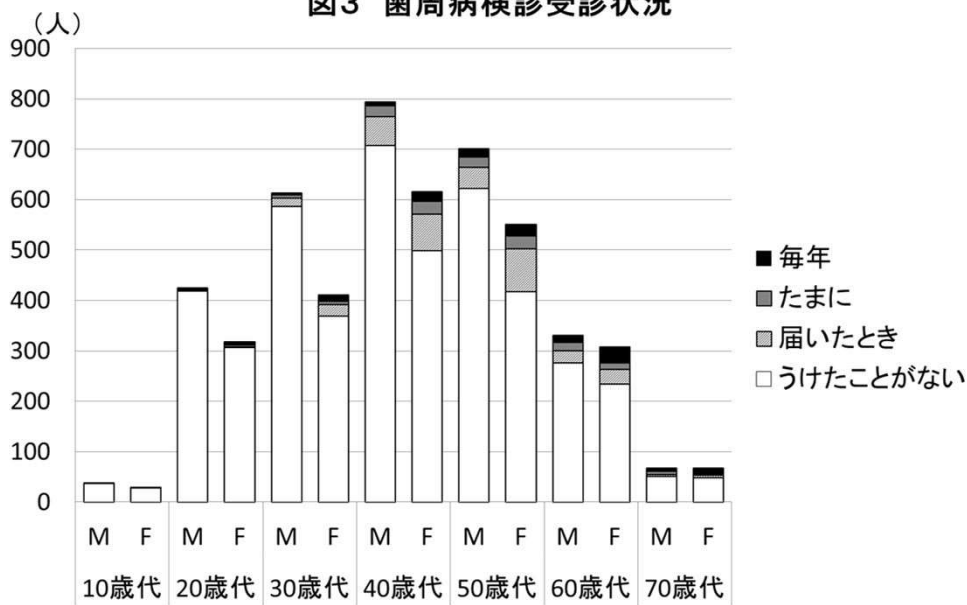
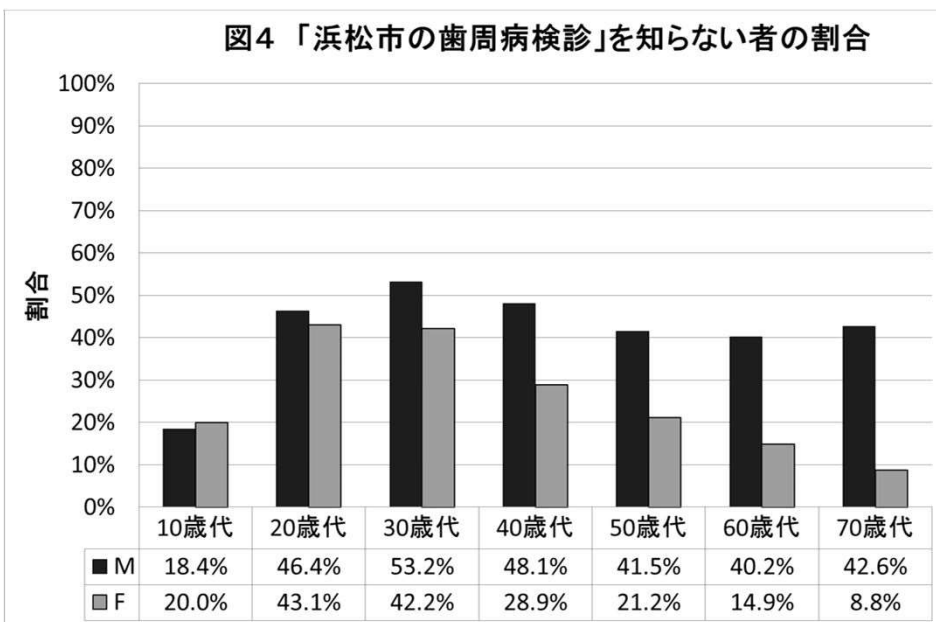


図4 「浜松市の歯周病検診」を知らない者の割合



## (2) 令和3年度計画

(既存事業の改変、拡充、新規事業等)

### ① 3歳児歯科健診

・中・東・西・南・北区は、一般健診は委託医療機関で個別健診、歯科健診は保健センター等で集団健診としてきたが、歯科健診も個別健診として委託歯科医療機関で実施する。

区名	R2		R3
中・東・西・ 南・北	一般： 個別健診	⇒	一般： R2に同じ
	歯科： <b>集団健診</b>		歯科： <b>個別健診</b>
浜北・天竜	一般 歯科 集団健診として同時に実施		R2に同じ

### ② 2歳児歯科健診

・これまで、予約制をとらず、実施日時に来場した者に対応してきたが、LINE等を活用した予約制として実施する。

### ③ 歯周病健診

・受診率向上を目指し、はままつウエルネス推進協議会に参加する事業所等を対象に、歯周病検診の周知と歯の健康づくりの大切さに関する普及啓発を行う。

### ④ 出張型健康教育の充実

GO TO デンタル活動で対象とした事業所に対し、事業所訪問や健康教育を実施する。

### ⑤ オーラルフレイル対策の推進

- ・広聴モニターを対象としたアンケート調査、「健康に関する市民アンケート調査」にて、「オーラルフレイル」の認知度を調査する。
- ・国の歯科疾患実態調査や健康栄養調査の対象者に、歯科保健に関する調査を実施する。
- ・後期高齢者健診のチェックリストから口腔機能の低下が窺われる者を抽出し、歯科受診への働きかけを行う。
- ・「オーラルフレイル」の概念の普及のため、「歯と口の衛生週間」や「いい歯の日」といった時期に普及啓発活動を実施する。

## オーラルフレイル「今、なぜ、課題なのか？」

### 【浜松市の健康寿命と平均寿命】

- ・健康寿命は、男性 73.19 歳、女性 76.19 歳と政令指定都市で最長（2016 年）だが、平均寿命は、男 81.6 歳、女 87.6 歳であり、健康寿命との差は男性 8 年、女性 11 年。

↓

- ・今後、いかに「健康寿命を延ばしていくか」が課題

健康増進課 ☎453-6125

### 大都市別健康寿命 第1位 になりました

～これからも元気でいるために～

今年の7月に厚生労働科学研究班から公表された「大都市別健康寿命」で、浜松市が男女とも1位になりました！今後さらに健康寿命を延ばせるよう、運動や食事に気を付けましょう。

※熊本市を除く全国19の政令指定都市と東京都区部を加えた計20都市

健康寿命		(年)	
	浜松市	全国	
男性	73.19	72.14	1位
女性	76.19	74.79	1位

2010 2013 2016  
3期連続 20大都市の中で1位のじゃ！

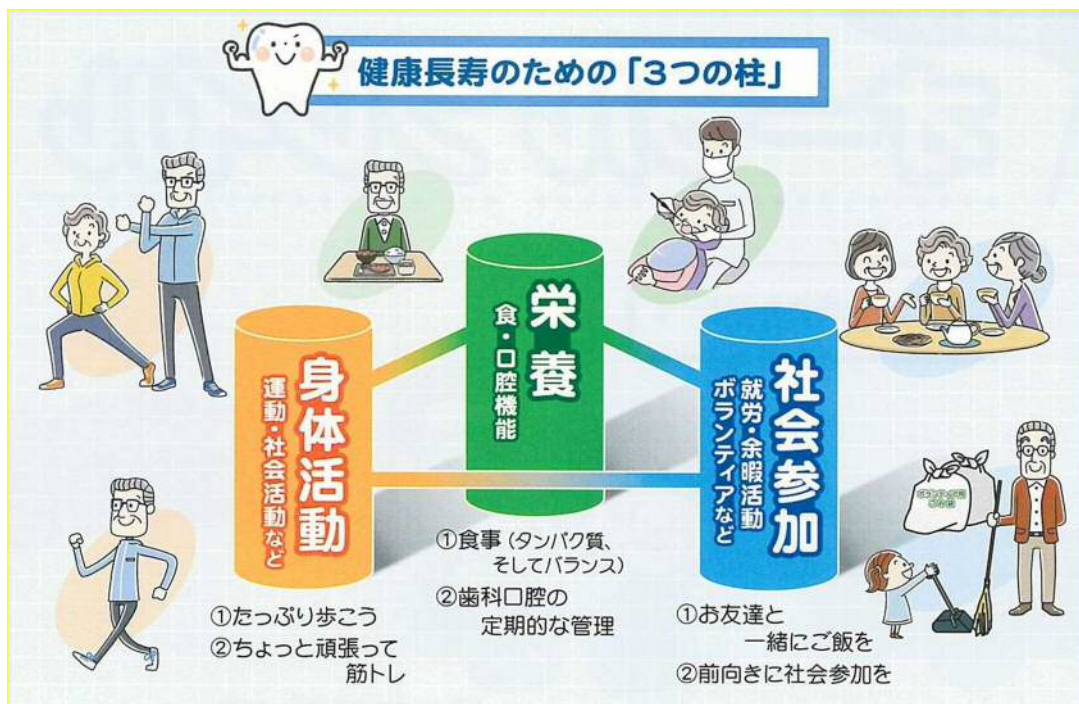
健康寿命とは？  
健康上の問題で日常生活が制限されことなく生活できる期間

健康くん

出典：厚生労働科学研究班による大都市別健康寿命2016年

広報はまつ 2018 年 11 月号

### 健康長寿のための3つの柱



- ・歯と口の健康は健康長寿に大きく関与
- ・健康長寿のために、オーラルフレイルという考え方に注目が集まっている。

## 歯科保健の推進に関する委員のご意見（その2）

	市川委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市手をつなぐ育成会)	川合委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	山本委員 (浜松民間保育園長会)
市や専門団体 にお願いしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に配れる、歯の磨き方やお口の手入れの方法等分かりやすい配布物があると活用できるのではないかと？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期からの歯磨き習慣、定期的な健診と受診がとても大切だと思います。障がい児の幼児通園施設にも学校歯科医のような園の歯科医がいて、健診だけでなく、歯磨きやしあげ磨きの指導をしていただくと、保護者の意識も高まるのではないかと思います。</li> <li>・知的障がい者は、自分で歯磨きができなかったり、一人で歯科受診することができないので、家族や保護者がその大切さを認識できるような講演や指導などの働きかけを行っていただくとありがたいです。</li> <li>・障がいのある方の状況に応じて診察や治療をしていただいておりますが、障がいによっては、治療以外の点で課題があります。治療器具、診察室や待合室などの環境、音、声掛けや説明など、障がいの特性などにご理解いただきたいと思います。協力医の先生方には、本人だけでなく親も歯科受診に不安を抱えていることを知っていただければと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアメンバーの高齢化が理由で退会してしまう地区が数か所あった。今後の活動方法の見直しが必要だと感じる。</li> <li>・ヘルスポランティア活動が立ち上がった頃は、介護保険制度もまだ進んでなく、自宅で一人ぼっちの方のおしゃべり相手や、ご家族の負担が少しでも楽になるように散歩に出かけたこともあったが、今ではシニア会やサロン、カフェでの対応のみ。どの地区でもある程度の知識やレクリエーション技術を持っているので、市全体で集まる研修や会議などの負担は減らして、地域で活躍してもらえばいいのではないかと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において密集を避けるため集団での講座ができないため、DVDの視聴となったが、視聴の為の十分な環境や機器がないと困難な状況にある。紙芝居等の方がやりやすかった。</li> <li>・啓発紙（保護者向け）は有効であった。</li> <li>・歯科衛生士による講座やお口を育む玩具など人気があったため継続したい。</li> </ul>